

相模原市立小・中・義務教育学校産業廃棄物収集運搬処分業務委託 (その他) 仕様書

1 委託業務の内容について

受託者は、この仕様書に従い相模原市立小・中・義務教育学校から排出される産業廃棄物について年3回、収集運搬及び処分を行う。

2 契約数量について

契約は総価単価契約とする。なお、収集運搬及び処分を行う産業廃棄物の種類及び予定数量は次のとおり。

(単位：k g)

	廃プラスチック類 及び混合廃棄物※	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	がれき類
予定数量	130,900	10,800	5,500

※混合廃棄物は、一体不可分の廃棄物で、「廃プラスチック類」、「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」、「金属くず」、「樹脂含強化木単板」「メラミン化粧板」等を含む。

3 収集運搬の方法等について

(1) 回収日程について

回収時期は、7月期、10月期、2月期の年3回とする。

受託者は、各期の回収作業を実施する日の7日前までに日程表(日別・回収時間帯(午前・午後)別)を作成し、発注者に提出すること。なお、日程表に変更が生じる場合は、発注者及び該当の学校等にその旨の連絡をすること。

(2) 収集運搬物について

発注者から送付する「産業廃棄物回収物一覧」に基づき、各学校から産業廃棄物を収集する。

(3) 学校等の回収場所

回収場所は、別添「回収校一覧」の敷地内で、発注者が指定する場所とする。

(4) 学校等での回収時間

午前8時45分から午後4時30分までとする。

(5) 収集運搬に使用する車両

収集運搬に使用する車両は、自動車車検証にて受注者の使用権原(所有権又は使用权)が確認できる車両とすること。

(6) 収集運搬体制

受注者は、収集運搬業務を安全かつ遅滞なく適正に遂行できるよう、車両1台につき2名乗車とすること。ただし、複数の車両が同時に学校を訪問し収集する場合で、校内において安全を確保しながら他の車両を誘導できる場合に限り1人乗車も可とする。

(7) 注意事項

ア 校内を走行する際及び収集時には、児童・生徒等の安全の確保をしなければならない。

イ 学校等での回収作業の開始前に、必ず学校職員等に作業開始の了解を得てから始めなければならない。

ウ 収集運搬作業実施時は、産業廃棄物の飛散防止対策を講じるとともに、事故防止につい

て万全の注意を尽くすこと。事故等不測の事態が発生した場合は、責任と誠意を持ってこの処理に当たり、また速やかに事故報告書を発注者に提出しなければならない。

エ 受注者は、発注者から委託された産業廃棄物の積替え保管を行わないこと。

4 中間処理の方法等について

- (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）、その他関係法令に従い、適正に処分すること。
- (2) 受注者は、受託した産業廃棄物の中間処理後の残渣物について、自らの責任において適正に処分すること。

5 マニフェストについて

- (1) 発注者及び受注者は、廃棄物処理法の規定に従って、電子情報処理組織使用事業者が使用する電子情報処理組織（以下「電子マニフェストシステム」という。）を利用するものとする。ただし、発注者又は受注者のいずれかの事情により電子マニフェストシステムが利用できない場合は、産業廃棄物管理票を利用するものとし、その帳票は受注者が用意するものとする。
- (2) 受注者は、中間処理業務が完了したときは、情報処理センターに対して行う報告、又は、廃棄物管理票の写しの送付に加え、業務完了届を速やかに提出しなければならない。

6 環境配慮事項について

- (1) 「相模原市環境方針」の主旨を踏まえ、業務の実施において省資源・省エネルギーに取り組む等、環境への負荷の低減を図るとともに、環境関連法令の規制等を遵守すること。
- (2) 市への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- (3) 業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底すること。
- (4) 業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理に当たっては関連法令を遵守し、適正に処理すること。

7 その他

この仕様書に定めのない事項であっても、受注者は業務の遂行に当たっては誠意をもって行い、疑義の生じた場合は、発注者と受注者がその都度協議の上、定めるものとする。

以 上